

第2学年 生活科学習指導案

に組 男子19名 女子20名 計39名
指 導 者 岩 本 博 裕

1 単 元 大すき やさいさん

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、1年小単元「きれいな花をさかせよう」の活動で、アサガオを育てる中でアサガオの生長の過程を観察したり、世話をしたりすることができるようになってきている。また、2年単元「やったぞ2年生」の活動で、1年生の時に育てて収穫したアサガオの種を新1年生にプレゼントできた喜びから、アサガオを育てた時に身に付けた観察の仕方や、世話の仕方を生かして他の植物を育ててみたいという願いをもつようになってきている。

そこで、本単元では、植物へのかかわりをさらに深めるために、自分の思いや願いを基に、野菜を育て、収穫する活動に主体的・能動的に取り組ませる中で『大きく育てて、収穫したい』という願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動への意欲を高めようとするものである。同時に、これまでの栽培経験を基に、諸感覚を使って試行錯誤しながら野菜とかかわり、友達の観察や世話の仕方と比べたり、気付いたことを表現したりしながら、野菜の観察や世話の仕方を工夫するとともに、野菜の特徴や野菜が生命をもち、生長していることに気付くようにするものでもある。また、これらの活動を通して、自分自身のよさや成長に気付かせることもねらっている。

なお、この学習を通して子どもたちが身に付けた植物へのかかわり方や親しみ、生長することの楽しさが基となり、身近な昆虫などの生き物にも目を向けさせていく。そして、それらと触れ合って自分の生活を楽しくしたいという思いとなり、「見て見て、小さな生きもの」の活動へと発展していくものである。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちが野菜の栽培活動に主体的に取り組む原動力となっているのは、収穫への期待である。自ら苗を選択して購入し植え付け、その生長を見守りながら育て、実りを待つという一連の栽培活動で、その成果が形に現れ、他では味わうことのできない発見の喜びや生長する楽しみ、願いが叶った成就感を味わうことができる。単元で用いる野菜（ミニトマト・トマト・ナス・ピーマン・オクラ・キュウリ・エダマメ）は、子どもたちの食生活になじみも深く、栽培も比較的簡単で、世話の仕方によって大きく生長し、たくさん収穫できる野菜である。また、これらの野菜は、子どもたちにとって生長の様子や変化が捉えやすく、諸感覚を使って観察することにより、多様な世話が必要なことに気付き、新たな発見や疑問をもちながら試行錯誤して世話することができるものでもある。さらに、子どもたちの興味・関心や成就感という点からも適しており、子どもの身近な場所において、いつでも世話できるものである。

このような野菜の栽培活動に、子どもたちが主体的に取り組み、野菜に対する気付きを広げたり深めたりするために、野菜について気付いたことを比べたり、友達のよさなどを互いに伝え合ったりする活動を重点化していきたい。

具体的には、まず、「野菜さんこんにちは」の活動では、これまでの経験や自分の好みを基に、本市で自分の育てたい野菜を購入させることで、『野菜を大きく育てて収穫したい』という思いや願いを高め、意欲的に栽培活動に取り組めるようにしていきたい。次に「野菜の世話をしよう」の活動では、継続して観察や世話をすることができるように、自分の力で野菜を育て、生長させる楽しさを味わわせていきたい。また、自分の野菜とかかわる時間を十分にとり、諸感覚を使って、野菜をじっくりと観察させ、新たな発見や疑問をもたせたり、友達の野菜と比べさせたりしながら、よりよい世話の仕方や友達のよさに気付いていくようにしたい。観察については、国語科の題材「かんさつ名人になろう」と関連させながら学習を進めていきたい。さらに、「野菜を収穫しよう」「野

菜の世話を振り返ろう」の活動では、収穫の喜びを味わわせる中で、これまで蓄積した観察カードから野菜の生長に気付かせたい。さらに、自分の世話の仕方や野菜とのかかわり方といった取り組み方を紹介し合う活動を通して、野菜を育て上げることができた自分のよさにも気付くことができるようにしたい。

なお、活動の展開においては、一人ひとりの実態に応じた支援を行い、お互いのよさに触れ合える場を設けたり、学習したことを生かせるような教師の働きかけを行い、活動が連続・発展していくようにしていきたい。

このような活動を通して、子どもたちは活動に没頭し、活動に対する成就感や満足感を味わうとともに、自分のよさや成長を実感し、自分への自信と自分の生活をこれまで以上によりよくしていくとする意欲を高めることができると思う。

(3) 子どもの実態 (対象者 に組 39名, 数値は延べ人数)

<p>〈栽培への関心・意欲〉</p> <p>○栽培したい…38名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育ててみたい…15名 ・野菜が好き…6名 ・生長を観察したい…2名 <p>○栽培したくない…1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜が嫌い <p>〈これまでの栽培経験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある…29名 ・ない…10名 <p>《具体例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト…13名 ・ピーマン…7名 ・ミニトマト, なす, キュウリ…各5名 <p>〈野菜の世話の必要性〉 (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水かけ…36名 ・肥料やり…25名 ・毎日の観察…5名 ・草取り…4名 ・支柱立て…3名 ・虫取り, 芽摘み, 耕す…各2名 ・収穫, 日光に当てる…1名 <p>〈困ったときどうするのか〉 (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図鑑で調べる…20人 ・先生に聞く…18人 ・お家の人に聞く…15人 ・自分で考える…10人 ・友達に聞く…8人 ・何もしない…2人 <p>〈収穫後の思いや願い〉 (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べる…29名 ・プレゼント…17名 ・見せる…3名 	<p>本学級の子どもたちは、ほとんどの子どもが『野菜を育ててみたい』という願いをもっている。また、実際に野菜を育てたことのある子どもも、半数以上である。しかし、自分自身でという子は、いなかった。そこで、栽培意欲の乏しい子どもや経験の少ない子どもに対しては、思いや願いを達成させるために、自分と友達の観察や世話の仕方を比べさせたり、教師と一緒に活動したりしながら自分なりに工夫して取り組めるようにしていく必要がある。</p> <p>野菜の世話の仕方については、アサガオの栽培経験から、多くの子どもが水かけが必要だと感じている。しかし、野菜の栽培に必要な多様な世話の仕方について気付いている子どもは少ない。そこで、アサガオの栽培経験を基に、諸感覚を使って観察をさせたり、経験のある子どもの考えを広げたりしながら、野菜の栽培にも</p>
---	---

も様々な世話の仕方があることに気付かせていきたい。さらに、世話を通して困ったときの対応の仕方としては、インタビューすることや本で調べることが中心なので、友達との情報交換の場を意図的に設定することで、友達と学ぶことの大切さや友達のよさを実感させるようにしていきたい。収穫後の活動については、新鮮な野菜を味わったり、家族にプレゼントしたいと願ったりしているので、子どもの成就感を実感させるような活動を設定していきたい。

(4) 指導上の留意点

ア 「野菜さんこんにちは」の活動では、『野菜を大きく育てて収穫したい』という思いや願いを高めるために、実物や写真を提示する。さらに栽培意欲を高めるために、野菜について調べて紹介したり、春の木市に行き自分で苗を選択し購入したりする。また、苗との出合いの場を工夫し、自分たちで苗植えに必要な物を準備したり、自分の野菜に名前を付けたりして、自分の野菜への愛着をもたせるようにしたい。

イ 「野菜の世話をしよう」の活動では、自分の力で野菜が生長したという喜びや野菜に対する気付きを深めるために、いつでもかかわることができるよう教室の前で栽培する。また、諸感覚を使って観察させるために、子ども一人ひとりを見取る中で、特に諸感覚を使って活動している子どもを意味付けたり価値付けたりして、全体に広げるような手立てを行うようにする。そのような観察を基に、野菜に必要な世話の仕方に気付かせていきたい。さらに、野菜の生長や面白さに気付くことができるようにするために、アサガオの生長を思い出させたり、自分の野菜と同じ野

菜同士や違う野菜を比べさせたりする活動を設けるようにする。なお、育て方に疑問をもったり、困ったりした時に自分の力で工夫して解決できるようにするために、図鑑や本を持ち寄らせて図書コーナーを設け、取組が持続できるようにしたい。

ウ 「野菜を収穫しよう」の活動では、収穫できた喜びや成就感を深めるために、喜びの気持ちや収穫できた実やその味を表現させたり、紹介し合ったりする場を設け、学級のみならず互いに喜びを分かち合えるようにしたい。また、保護者の方から感想の手紙を書いてもらったりしながら、子どもが、これまでの活動に対して成就感をもてるようにしていきたい。

エ 「野菜の世話を振り返ろう」の活動では、野菜の生長の様子や世話の工夫、野菜へのかかわり方といった自分の取り組み方を振り返ることができるようにしたい。具体的には、これまでの野菜の生長を紹介し合い、活動して自分ができるようになったことを考えさせるようにする。

3 目 標

- (1) 『自分の野菜を大きく育てて収穫したい』という思いや願いを基に、諸感覚を使った栽培活動や友達との情報交換を役立て、自分で選んだ野菜を育てる活動に意欲的に取り組むことができる。
- (2) これまでの栽培経験や同じ野菜を育てている友達との情報交換や野菜作りに詳しい木市の人や身近な人に尋ねたことなどを基に、諸感覚を使って自分の野菜の観察をし、試行錯誤しながら世話をすることができる。また、観察したことを絵や文に表すことができる。
- (3) 自分の野菜が生命をもち、生長していることに気付き、野菜に愛着をもって心を寄せながら大切に育てることができる。また、活動を通して自分の成長やよさに気付くことができる。

4 指導計画 (全 12 時間)

活動する楽しさ	活 動 名 (意欲の高まりと気付きの様相)	主 な 学 習 活 動 (時 間)	学習形態・環境構成 教師の具体的な働きかけ
○野菜と出会い、自分の野菜をこれから育てていこうとする楽しさ	・1年生にアサガオの種をプレゼントできたよ。 ・2年生でも何か育てたいな。	前単元 「やったぞ 2年生」	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが野菜の栽培に意欲的にかかわるようにするために、木市で自分の苗を購入する計画を立てさせるようにする。 ・育て方にも目を向けさせるために、お店の人にも育て方を尋ねさせるようにする。 ・日常的にかかわらせるために、教室前で栽培させるようにする。 ・国語科の「かんさつ名人になろう」と関連させながら観察の仕方や記録の書き方について話し合わせる。 ・自分の気付きを自分なりの方法で具体的に記録できるようにするために、観察カードの形式を多様に準備しておく。 ・野菜の生長に気付かせるために、アサガオの生長を思い出させたり、違う野菜と比べさせたりする。 ・友達によさや成長に気付かせるために活動で生まれた疑問や発見を紹介したり、話し合ったりするような場を設定する。 ・世話を工夫できるように、同じ野菜を育てている友達と見比べたりかかわりをまねたりしながら世話をさせるようにする。 ・野菜の生長の様子や、自分の取り組み方のよさを振り返らせるために、観察カードを蓄積させる。 ・自分の成長やよさに気付かせるために、ワークシートを基に活動を振り返る場を設定する。また、保護者からの手紙を用いて称賛できるようにする。 ・今後の活動に意欲をもたせるために、夏期休業中の栽培方法について話し合わせる。
○自分が植える野菜を選び、購入する楽しさ	野菜さんこんにちは (4時間)	育てる野菜を決め、木市に買いに行く計画を立てる。(1) 市電に乗って木市に行き自分で選んだ野菜の育て方を聞きながら購入する。(2) 鉢に土作りをし、購入した野菜の苗を鉢に植え、これから活動したいことを話し合う。(1)	
○自分の手で、野菜を植えることができる楽しさ	・野菜を育てたいな。 ・自分で選んで苗を買いたいな。 ・早く大きくなってね。 ・ようし、大きくするぞ。	諸感覚を使った野菜の観察の楽しさや世話の仕方について話し合ったり、観察カードの書き方について話し合ったりする。(1)	
○野菜の生長を見守る楽しさ	野菜の世話をしよう (5時間)	諸感覚を使って野菜の育ち方を観察し、お世話をするとともにこれからのかかわり方を話し合う。また、観察や世話をしながら、友達と比べてたり、観察や世話の工夫を工夫させたりしながら、さらに野菜とのかかわりを深める。(本時)(2/4)	
○野菜の観察を工夫し、かかわりを深める楽しさ	・茎の根本にぶつぶつがあるよ。どうしてかな。 ・葉っぱの大きさが違うな。他のは、どうかな。 ・野菜がたおれている。虫がいる。どうしよう。 ・葉っぱの色が悪いぞ。	自分が育てた野菜を収穫し、その喜びの気持ちを伝え、収穫後のことについて発表する。(1)	
○諸感覚を使った観察により世話の工夫することができる楽しさ	野菜を収穫しよう (1時間)	これまでの本単元の活動を振り返る中で、自分のよさやできるようになったことについて紹介する。(1) また、今後(夏休み)の自分の生活の中で、野菜を工夫して作ったり、世話の工夫を工夫したりすることを考える。(1)	
○友達と協力して観察や世話の工夫することができる楽しさ	・すごい。たくさん実ができたぞ。 ・おいしい。やったぞ!		
○大きくなった自分の野菜を収穫できる楽しさ	野菜の世話を振り返ろう (2時間)		
○自分の野菜へ方のかかわり感を感じることができる楽しさ	・大きく生長させることができたぞ。 ・収穫することができたぞ。 ・野菜さん大すき。 ・もっと他の野菜も育ててみたいな。		
○自分自身の成長に気付く楽しさ			

5 本 時 (7 / 12)

(1) 目 標

ア 『もっとよく観察して自分の野菜を大きく育てたい』という思いや願いの基に、自分から進んで自分の野菜の観察に取り組むことができる。

イ 諸感覚を使って試行錯誤しながら自分なりに観察する中で、野菜への気付きをもつことができる。また、そのような活動を通す中で自分自身や友達の取り組み方のよさに気付くことができる。

(2) 本時の展開に当たって

子どもたちが諸感覚を使って自分の野菜の観察をし、多様な気付きをもつために、アサガオの生長を想起させたり、同じ野菜同士や違う野菜と比べたりして、気付いたことを表現し合う活動を設けるようにする。また、活動中は、子どもの活動を見取り、その行為や考え方を価値付けたり意味付けたりしながら、今後の栽培意欲をさらに高めていけるよう支援し、活動を展開していきたい。

(3) 準 備

自分が育てている野菜、アサガオ、観察カード、探検バック、虫眼鏡、投影機、野菜 等

(4) 展 開

難	主 な 学 習 活 動	難	教 師 の 具 体 的 な 働 き かけ
意欲をもつ	1 最近の野菜の様子について話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの生長を思い出したぞ。 ・僕の野菜は、どうなっているのかな。 ・友達の野菜ってすごいな。 </div>	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の野菜をもっとよく観察したいという思いを高めるために、これまでの野菜の生長やアサガオの生長を振り返らせる。 ○ 活動への意欲を高めるために、日頃から諸感覚を使って観察し、様々な気付きをもっている子どもの取組を紹介する。 ○ 本時の活動への見通しをもたせるために、具体的にどのように観察したらよいかを考えたり、アサガオや友達の野菜と比べたりするよさを気付かせる。
	2 本時の活動について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> やさいさんのけんこうかんさつをしよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の野菜をもっとよく観察してみたいな。 ・ぼくの野菜さん元気かな。 </div>		
活動する	3 自分の野菜の観察し、気付いたことを伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 諸感覚を使った観察 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">触</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">匂</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聴</div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> 友達との交流 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの葉の色は、黄緑だけど友達の野菜はどんな色かな。 ・アサガオみたいに、葉っぱに毛があるぞ。他の野菜は生えているのかな。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アサガオと比べる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同じ野菜と比べる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">違う野菜と比べる</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 野菜に対する気付きの広がりや深まり <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・僕の野菜もアサガオと同じように大きくなるな。 ・私の野菜も毛みみたいなものが生えていたよ。 ・蔓みたいなものは伸びていないな。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の野菜も僕のと同じように葉っぱがざらざらしていたよ。 ・同じ野菜なのにどうして大きくなるのが違うのかな。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私の野菜も毛みみたいなものが生えていたよ。 ・葉っぱの大きさが、全然違うぞ。 ・毛みみたいなものが生えているけど、何になるのかな。 </div> </div> </div> </div>	33	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの気付きを広げたり深めたりするために、「友達の野菜はどうか」「君の野菜はこうなっていたよ」など問いかけるようにする。 ○ 個への対応
	4 友達よさや自分のできるようになったことを発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオと比べたり、友達の野菜と比べたりするといろいろ分かるね。 ・この後どうなっていくのか楽しみだな。 ・もっと詳しく観察してみたいな。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの考え方のよさを広げるために、活動中に生まれた疑問や問題は、全体で話し合っていくようにする。 ○ 子どもたちの気付きをさらに広げたり深めたりするために、気付いたことを表現させたり、実物を使って実際に確認したりする。 ○ 本時の学習に対する成就感をもたせるために、本時の学習を振り返らせる。 ○ これからの栽培活動への意欲を高めるために、本時でがんばったことやできたことを称賛する。
振り返る		5	